

サタデースクール通信

2018年12月28日 発行
教育委員会 生涯学習推進課

秋から初冬までの間で行われた各活動事例をご紹介します。
今回は、就学前の幼児と児童が体験活動を通して交流を深め、学び合う幼保小連携事業「なかよしキャンプ」とコラボした事例もご紹介いたします。



■「なかよしキャンプ in サタデースクール」

もみじの丘小学校地域連携協議会（9月29日）

自然のままの森がある熊の沢公園にて、自然探検を実施。「おーちたおちた」「キャッチ」など手遊びで緊張感をほぐしてから、子どもたちはニコニコ笑顔で探検に出発しました。



「熊の沢公園の自然と親しむ会」の人たちから、公園のゆかりや自然林についてのお話があり、「危険な植物」や「木の実」などの説明に、子どもたちは興味津々にしっかり話を聞き、植物の見識や地域への愛着を深めておりました。

西野第二サタデースクール運営協議会（10月20日）

札幌おはなしの会と開放図書館ボランティアによる読み聞かせを披露。声の大きさや抑揚、身振り手振りで表現したり、ペープサートを使ったり、バリエーション豊かな読み聞かせに子どもたちは夢中になって聞き入っていました。



続いて、4、5年生の案内で幼児たちは学校内を探検しました。1年生の教室に入って椅子に座ってみたり、パソコン室でパソコンに触れたり、体育館の大きさを体感したり、と学校内を探検し、ゴール地点の学校図書館を目指しました。地域開放している学校図書館のため、大人向けの図書もあり、豊富な蔵書数に、子どもだけでなく、大人も自然と探検の一員になっていました。

なかよしキャンプの中で一緒に活動することにより、児童にとっては上級生としての自覚や責任感が育まれ、幼児にとっては入学への期待感が高まります。また、企画をサタデースクールとして実施することで、地域と学校が一体となって、子どもを育てる環境づくりにつながっていくことが期待できます。



《 事例紹介 》

各運営協議会にて企画されたプログラムには、様々な創意工夫があり、児童・生徒の楽しそうな表情や真剣な表情などからも、充実した時間となっている様子がうかがえました。

■ 「ハッチャムホリデー」(10月6日、発寒西小学校サッポロサタデースクール事業運営委員会)

理容美容専門学校教員及び美容院経営者を講師に招き、理容師・美容師職業体験を低学年と高学年の2部構成で開催。理容と美容の違い、専門家が使う道具、シャンプーの正しい仕方などを教わり、その後、二人一組でマネキンを用いてクシとハサミでカットの体験を行いました。



子どもたちは、それぞれの思考を巡らし、生き生きとした様子で取り組んでおり、その風景をうかがえたことなどに保護者にも好評の様子でした。

■ 「秋のおたのしみかい」(10月13日、手稲中央小学校サタデースクール運営協議会)

地域開放している学校図書館「森のすず」のボランティアの皆さんによる大型絵本とプロジェクター映写で臨場感ある読み聞かせのほか、音楽に合わせて踊るボードビル人形劇を披露しました。

子どもたちに人気ある「怪盗ゾロリ」絵柄の大型カルタでは、見つけてまっすぐ取りに行く子、見つけられずグルグル探す子、飛び込むように取りに行く子など様々な動きがあり、身体と頭を動かすカルタを楽しんでいました。



■ 「親子料理教室」(10月20日、ひばりが丘小学校地域連携協議会)

北海道乳業協会の管理栄養士を講師に招き、乳和食をテーマに親子料理教室を実施しました。

栄養士のアドバイスを受けて、牛乳やホエーを使った体に優しい調理方法を教わり、講話を聴きながら、食の大切さを学びました。



親子で協力し合い、出来上がった料理は、どこかうま味が増したようで、子どもたちの箸はよく進んでいました。





■「つくってみよう！お正月のしめ縄」(10月27日、みどり小学校地域連携協議会)

お正月飾りを35年以上作り続けている、校区内にある小林商店に講師を依頼して、しめ縄づくり教室を開催しました。

一からの制作には時間を要すること、児童の力では難しい点が多いことを考慮して、輪にした縄にグルーガンで装飾を施す作業から始めました。

子どもたちは、それぞれのアイデアを生かしながら、オリジナルティあふれるしめ縄に仕上げていました。



■「ふれあい餅つき大会」(11月17日、手稲西中学校地域連携協議会)

地域の文化として根付いている餅つき大会で伝統行事を学び、町内会や社会福祉協議会スタッフの指導の下、杵の振り下ろしや餅の丸め方を教わりました。

参加していた小学生や地域の方と触れ合う体験もでき、地域での活動に参加することで、より一層地域を大切にす心の育ちにつながった様子でした。



■「子どもと大人の遊びの広場」(12月1日、青葉小学校サタデースクール実行委員会)

地域との交流を図る企画を3部構成で実施。アンサンブル弓(きゅう)による弦楽合奏を鑑賞した後、体育振興会による「フロアカーリング」「紙飛行機大会」など幅広い世代で楽しめるゲーム交流を行いました。

最後は、児童の企画・進行による「仲間集め」「ラインナップ」などの交流ゲームで、参加者が互いにコミュニケーションを取りながら、お題をこなしていき、会場は笑顔と笑いにあふれ、自然と一体感が生まれる雰囲気となっていました。





■「おもしろ実験教室 ぐるんぐるん大作戦」

(12月15日、山鼻南小学校サタデースクール事業運営協議会)

回転が直進性を生むということ、実験を通して学ぶ教室を開催しました。

ロケット風船をまっすぐ遠くへ飛ばすというテーマに、子どもたちは、風船に重りをつけたり、羽をつけたりと工夫を凝らしながら工作し、回転が加わるとより直進することを教わりました。

回転による直進性の原理を応用して、ジャイロリングを制作し、子どもたちは、思考を重ねながら、より遠くへ飛ばせるよう夢中になって、取り組んでいました。

このプログラムは、STV番組「札幌ふるさと再発見」に取り上げられることとなり、平成31年1月5日(土)11:54~11:59(5ch札幌テレビ)に放送が予定されておりますので、どうぞご覧ください。また、札幌市公式ホームページ上にも、番組情報が掲載されますので、後日視聴できます。

「札幌ふるさと再発見(STV)」 URL : <http://www.city.sapporo.jp/somu/tvradio/stv.html>



《 事務コラム 》

委託料の対象経費のうち、「コーディネーター謝金」に関する説明をいたします。

$$\text{謝金} = \text{時給 (1,200 円)} \times \text{活動時間}$$

プログラム実施内容の計画や広報活動、講師や運営スタッフとの連絡調整、実施日の進行管理(設営・片付作業含む)などコーディネーター業務の活動実績を月単位まとめにして、計算します。

このため、活動実績によらない一律の額や商品券を謝金とはできず、活動日時のある活動実績簿や受領書を書類として保管する必要があります。

なお、月単位の活動時間が、例えば4.5時間のように1時間未満がある場合、1,200円×4.5時間=5,400円となり、時間数に応じた計算となります。

《 教育委員会から 》

2月20日(水)午前に研修会を企画しております。運営の参考となる事例発表のほか、プログラム企画の参考となる企業などの紹介を予定しております。

